



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ROBOT PAYMENT 上場取引所 東  
 コード番号 4374 URL <https://www.robotpayment.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 清久 健也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 久野 聡太 TEL 03(5469)5787  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の業績 (2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,006	—	133	—	132	—	106	—
2020年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	29.32	—
2020年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2020年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2021年6月4日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、条件付発行可能潜在株式として取り扱われる新株予約権であり、所定の条件を満たしておらず希薄化効果を有していないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	4,004	523	13.1
2020年12月期	3,743	267	7.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 523百万円 2020年12月期 267百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,369	27.0	157	83.1	156	97.3	128	17.2	35.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

[(1)経営成績(累計)]に注記した株式分割が、当事業年度の期首に行われたと仮定して、2021年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	3,728,566株	2020年12月期	3,618,566株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	—株	2020年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	3,620,177株	2020年12月期3Q	—株

(注) 1. 当社は2020年12月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3Qの期中平均株式数を記載しておりません。

2. 当社は、2021年6月4日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2021年11月12日に四半期決算補足説明資料を当社のウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、引き続き全国的な経済活動の自粛が迫られ、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、「お金をつなぐクラウドで世の中を笑顔に」というビジョンの下、ペイメント・フィナンシャルクラウドにおいて提供しているサービスの継続的な機能のアップデートや拡張、導入企業拡大に向けた広告や営業等における取り組みを進めてまいりました。

ペイメントにおいては、引き続きコロナ渦において脚光を浴びている巣ごもり消費や追い風を受けている構造的なオフラインからオンラインへの移行などを背景に新規顧客獲得や取扱高が順調に推移しております。

フィナンシャルクラウドにおいては、コロナ渦において加速している顧客におけるバックオフィス業務の効率化、デジタル化の需要の盛り上がりなどを受け、新規顧客獲得が順調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高1,006,138千円、営業利益133,174千円、経常利益132,201千円、四半期純利益106,150千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (ペイメント)

当セグメントにおきましては、積極的なwebマーケティング、営業体制強化により新規顧客獲得が堅調に推移したこと、引き続きEC市場の成長に伴い既存顧客の取扱高が増加したことにより、売上高は658,224千円となりました。セグメント利益は、新規顧客獲得のために積極的に広告宣伝費を投下し、人員も増強した一方で、売上高の伸びも順調に推移し、セグメント利益は344,507千円となりました。

#### (フィナンシャルクラウド)

当セグメントにおきましては、webマーケティング、オンラインセミナー、タクシー広告等の様々なマーケティング施策による認知向上、営業体制強化により新規顧客獲得が順調に推移したこと、カスタマーサクセスの施策により既存顧客におけるアップセルが実現されたことなどにより、売上高は347,913千円となりました。セグメント利益は、営業体制強化のため人員強化、新規顧客獲得のために広告宣伝費を積極的に投下したことによりセグメント損失11,934千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末に比べ247,466千円増加し、3,558,170千円となりました。これは主に、預り金の増加及び上場に伴う増資により現金及び預金が281,987千円増加したことによるものです。

固定資産は前事業年度末に比べ13,646千円増加し446,182千円となりました。これは主にソフトウェアの開発に伴う無形固定資産の増加43,657千円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べ261,112千円増加し4,004,352千円となりました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末に比べ31,191千円増加し、3,436,059千円となりました。これは主に、ペイメントにおける加盟店の預り金増加による預り金の増加56,113千円によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べ25,737千円減少し、44,893千円となりました。これは1年内返済予定の長期借入金への振替による長期借入金の減少25,737千円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末と比べ5,454千円増加し、3,480,952千円となりました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比べ255,657千円増加し、523,399千円となりました。これは主に増資及び四半期純利益の計上によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、上記の通り、ペイメント事業・フィナンシャルクラウド事業の売上高が堅調に推移したほか、第3四半期会計期間において計上予定であった上場関連費用等が当初見込みを下回ったことなどから、2021年9月28日に公表しました2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の業績予想を以下の通りに変更

いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,333	百万円 150	百万円 124	百万円 102	円 銭 28.22
今回修正予想 (B)	1,369	157	156	128	35.18
増減額 (B - A)	36	7	32	25	
増減率 (%)	2.8	5.3	26.0	24.7	
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	1,078	86	79	109	30.35

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,476,314	2,758,301
売掛金	107,198	117,649
前渡金	598,769	606,707
前払費用	57,275	29,076
未収入金	24,332	56,072
その他	55,880	70
貸倒引当金	△9,066	△9,707
流動資産合計	3,310,704	3,558,170
固定資産		
有形固定資産	4,503	4,946
無形固定資産	287,945	331,602
投資その他の資産		
その他	141,943	111,567
貸倒引当金	△1,856	△1,933
投資その他の資産合計	140,087	109,633
固定資産合計	432,536	446,182
資産合計	3,743,240	4,004,352
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,541	9,162
1年内返済予定の長期借入金	53,966	32,316
未払金	50,862	62,394
未払消費税等	86,477	61,535
預り金	3,125,268	3,181,381
賞与引当金	—	8,362
その他	75,752	80,907
流動負債合計	3,404,868	3,436,059
固定負債		
長期借入金	70,630	44,893
固定負債合計	70,630	44,893
負債合計	3,475,498	3,480,952
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	138,262	194,116
資本剰余金	38,235	94,116
利益剰余金	9,512	192,161
株主資本合計	186,010	480,393
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	81,588	42,846
評価・換算差額等合計	81,588	42,846
新株予約権	143	160
純資産合計	267,742	523,399
負債純資産合計	3,743,240	4,004,352

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	1,006,138
売上原価	92,586
売上総利益	913,551
販売費及び一般管理費	780,377
営業利益	133,174
営業外収益	
受取利息	29
預り金精算益	5,069
その他	19
営業外収益合計	5,118
営業外費用	
支払利息	707
上場関連費用	5,384
営業外費用合計	6,092
経常利益	132,201
税引前四半期純利益	132,201
法人税等	26,050
四半期純利益	106,150

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月15日開催の臨時株主総会において資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の件について決議を行っており、2021年1月26日に効力が発生いたしました。それにより、減少する資本金の額38,262千円および資本準備金の額38,235千円を合算した金額76,497千円の全額をその他資本剰余金に振り替えた後、その全額を繰越利益剰余金に振り替えて、2019年12月期の繰越利益剰余金の額の欠損額に対する欠損填補を行いました。

また、当社は、2021年9月28日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2021年9月27日を払込期日とする有償一般募集増資（ブックビルディング方式による募集）により新株式110,000株を発行しております。当該増資により資本金及び資本剰余金はそれぞれ94,116千円増加しました。

上記の結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が194,116千円、資本剰余金が94,116千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期累計期間において2021年8月24日提出の有価証券届出書（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の拡大や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期財務 諸表計上額 (注2)
	ペイメント	フィナンシャル クラウド	計		
売上高					
外部顧客への売上高	658,224	347,913	1,006,138	—	1,006,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	658,224	347,913	1,006,138	—	1,006,138
セグメント利益又は損失(△)	344,507	△11,934	332,572	△199,398	133,174

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△199,398千円は、おもに各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。



(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2021年8月24日及び9月7日開催の取締役会において、株式会社SBI証券が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、2021年10月27日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は222,350千円、発行済株式総数は3,761,566株となっております。

- ① 発行する株式の種類及び数：普通株式 33,000株
- ② 割当価格：1株につき 1,711.2円
- ③ 割当価格の総額：56,469千円
- ④ 資本組入額：1株につき 855.6円
- ⑤ 資本組入額の総額：28,234千円
- ⑥ 払込期日：2021年10月27日
- ⑦ 割当先：株式会社SBI証券
- ⑧ 資金の用途：新規顧客獲得のための広告宣伝費、事業拡大に係る採用費及び人件費、設備投資資金に充当する予定であります。